

## ◆ 地デジ受信障害

### 地デジ受信障害に関する苦情

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	<b>324件</b>	<b>72件</b>	<b>37件</b>
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (2月末現在)
<b>28件</b>	<b>18件</b>	<b>16件</b>	<b>24件</b>

地上デジタル放送への移行後、米軍機が住宅地上空を通過すると、受信障害が発生するといった声が市内全域から寄せられており、その対策を国に求めたところ、沖縄防衛局の調査により認定された野嵩・普天間・新城の一部区域については、平成23年度に防衛省の補助金を活用し、市が対策を実施しました。しかしながら、対策が行われた区域以外からも同様な声が寄せられていることから、引き続き、米軍機が起因する地デジ受信障害の解消に向け取り組んでおります。

## ◆ 墜落の危険性

### 普天間飛行場所属機による事故

# 135回

(平均で約 2.9 回 / 年)

※件数は本土復帰から平成30年2月末までを集計

### 最近の主な普天間飛行場所属機の事故等 (平成30年2月末現在)

平成28年 1月29日	KC-130J空中給油機が飛行中に除氷ブーツであるゴム片を遺失
12月13日	MV-22オスプレイが夜間の空中給油訓練中にブレードを損傷。飛行が不安定となり、浅瀬に不時着水。着水時の衝撃により機体にかかりの損傷が生じた。
12月13日	MV-22オスプレイが同日に不時着水したオスプレイからの救難連絡を受け、着水現場で空中監視任務を行ったあと普天間基地に帰還したが、機体から着陸装置(脚部)を出すことができず、着陸時の衝撃を吸収するパッドの上に着陸した。
平成29年 1月11日	CH-53ヘリ1機が前脚降着装置に機械的障害を起こした。その後、クレーンを使用し機体前部を持ち上げた上で必要な整備が行われた。前脚降着装置の障害は着陸時によるものではないとのこと。
1月20日	AH-1Zヘリが飛行中、警告ランプがついたため、伊計島の農道に不時着
6月 1日	CH-53Eヘリが訓練中に警告灯が点灯したため、久米島空港に予防着陸
6月 6日	MV-22オスプレイが飛行中に警告灯が点灯したため、伊江島補助飛行場に予防着陸
6月10日	MV-22オスプレイが鹿児島県奄美諸島沖を訓練中に警告灯が点灯したため、奄美空港に予防着陸
8月 5日	MV-22オスプレイがオーストラリア東海岸沖で、海上を移動中の艦船への着艦の際に事故が発生した。乗員26名中3名死亡。
8月29日	MV-22オスプレイが岩国航空基地から普天間飛行場へ向かう途中、パイロットがエンジンの一つにトラブルを察知し、大分空港に予防着陸した。着陸の際に白煙及び煙が確認された。
9月29日	MV-22オスプレイがフィリピンに移動のため飛行中、エンジントラブルによる警告灯が点灯したため、新石垣空港に予防着陸
10月11日	CH-53Eヘリが飛行中の火災により北部訓練場外に緊急着陸し、その後機体が炎上した。
12月 7日	市内保育園で米軍機ヘリで使用している部品が発見された。
12月13日	普天間第二小学校グラウンドにCH-53Eヘリの窓(約1m四方、重さ7.7キロ)が落下
平成30年 1月 6日	UH-1Yヘリが飛行中にメインローターの回転速度超過を示す警告表示により、うるま市伊計島の浜辺に緊急着陸
1月 8日	AH-1Zヘリが飛行中にテールローターのギアボックスで微小な電気的事象を検知し警告灯が点灯したため、読谷村内に予防着陸
1月23日	AH-1Zヘリが訓練中に警告表示を受け、渡名喜村内のヘリパットに予防着陸
2月 8日	うるま市伊計島の海岸に、前日飛行したMV-22オスプレイ右側エンジンの空気取り入れ口の部品が漂着